



2008年12月24日

各位

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号: 4875 大証ヘラクレス
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号: 03-3519-5010
E-mail: info@medicinova.com

(補足)アヴィジェン社への買収提案に関するお知らせ

2008年12月23日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク (米国カリフォルニア州サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、当社の2008年12月23日のプレスリリース中にて言及しております、当社取締役会長ジェフ・ヒマワ博士のアヴィジェン社取締役会長ゾーラ・ホロヴィッツ博士に対する、アヴィジェン社買収の提案に関するレターの日本語抄訳を以下に示し、同プレスリリースを補足いたします。

なお、以下の抄訳は、あくまでも参考資料であり、正式には、2008年12月23日に米国証券取引委員会 (SEC) に提出した最新の報告書であるForm 8-Kをご覧ください。

(レター 日本語抄訳)

2008年12月22日

アヴィジェン社取締役会長
ホロヴィッツ博士

本レターは、弊社 (メディシノバ・インク) が2008年12月9日付レターで行った貴社 (アヴィジェン社) との合併の可能性についての関心表明につき、その詳細を明らかにすることを目的としております。

現時点において、弊社は、入手可能な公開情報及び予備的なデュー・ディリジェンスに基づき、貴社のすべての発行済み普通株式取得の対価として、弊社の普通株式及び転換可能有価証券 (convertible security。すなわち、転換社債又は転換可能優先株) をオファーしています。合併に際して、貴社は、負債、解雇手当その他関連債務に関する責任の履行等のあらゆる事業活動を清算し、その一方で、すべての知的財産権を合併後の会社に留保するものとします。

契約締結に当たって、弊社はすべての貴社の株主に対し、株数に応じた比例配分により、総数 175

万株の弊社普通株式を割り当てます。この株式の対価として、弊社は、貴社より 700 万米ドルの現金を受け取ります。

貴社が清算後に保有する、前述の 700 万米ドルを差し引いた残りの現金（以下、「純現金資産」といいます。）については、弊社の他の資産とは隔離して保有し、2010 年 3 月 31 日又は合併契約の締結から 12 ヶ月後のいずれかより遅い時点（以下、「最終転換期日」といいます。）までは使用しません（但し、以下に述べる転換がその前に行われた場合は、この限りではありません。）。貴社の純現金資産は、独立監査人によって監査されます。貴社のすべての株主は、弊社が発行する転換可能有価証券について、(1) 前もって指定された転換期日又は最終転換期日に、1 株当たりの転換価格 4.0 米ドルで弊社普通株式に転換する、又は(2) 最終転換期日に、弊社から、株式数に対する比例割合で貴社の純現金資産から現金にて償還を受ける、のいずれかを選ぶことができます。

本提案にあたって、弊社の提示する貴社株式の評価は、貴社の最近の株価及び 2008 年 10 月 21 日以降の終値の平均株価のいずれに対しても、相当のプレミアムが付されているという点をご考慮下さい。加えて、貴社の株主は、弊社の提示する転換可能有価証券により、会社の清算がない限り現状では不可能な現金の受領か企業価値の拡大の可能性のある合併企業への参加を選択することができることとなります。

弊社は、貴社と弊社の合併は、共用する製品候補の価値の増強など、多くの理由から双方の株主の最大の利益に供するものと考えております。また、貴社が、昨今株主から受けている圧力に対する対処ともなるはずであります。

しかし、弊社の本提案は、引き続き、商慣習上のデュー・ディリジェンスの完了、最終的な契約交渉、必要な認可及び当該契約に規定される契約締結に関する商慣習などを条件とするものです。本レター及び 2008 年 12 月 9 日付の弊社のレターは、拘束力のある提案ではありませんので、弊社はこの件に関して、喜んで、貴社及び貴社の顧問 (advisors) と話し合いをする用意があることをお伝えします。

弊社はこの件に関して、弊社取締役と貴社取締役との間のこれまでの関係に鑑み、数人の取締役で構成される特別委員会 (Special Committee of Directors) を組織いたしました。当該特別委員会は、弊社取締役会のメンバーである、私ジェフ・ヒマワン (議長として)、アラン・ダントン、アーリーン・モリス及び長尾秀樹の 4 名で構成されております。弊社特別委員会は、本提案が、貴社の株主にとって、またとない機会であると信じております。貴社から、速やかによいお返事をいただけるよう心から願っております。

メディシノバ取締役会長
ジェフ・ヒマワン

(注) 本レターは、未だ提案段階のものであり、取引の成約を保証するものではありません。

メディシノバ・インクは、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、多発性硬化症、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素および当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまります。当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。
